

乳児期から顔耳浸出液を伴った小児アトピーの経過 (2歳男児)

症例 ID：001-02-IH3b

記録日：2003年2月4日

1. 診断・治療前経過

生後1か月に満たない頃から額一面に赤いぶつぶつが出て、そのうち黄色い浸出液も出ました。1か月健診では新生児によくある脂漏性の湿疹とされ、経過を見る方針となりましたが、その後も状態はあまり変わりませんでした。

生後3か月になる頃に松本医院を受診しました。当時は頭皮が乾燥してぼろぼろとはがれ、額、頬、腕、胸、足に湿疹があり、夜間に掻いて朝には顔が血だらけになることもありました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ステロイド使用歴は記録内では明確ではありません。
製品名	不明。
強度	不明。
使用期間	不明。
中止時期	不明。
来院前／後	来院前後のステロイド使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後1か月未満	来院前	額一面に赤いぶつぶつが出て、黄色い浸出液も出ました。
1か月健診	来院前	脂漏性湿疹とされ、様子を見る方針となりました。
生後3か月頃	治療開始	頭皮の乾燥と落屑、額・頬・腕・胸・足の湿疹、夜間掻破による出血があり、松本医院を受診しました。漢方風呂、消毒、外用を開始しました。
1週間後	悪化期	湿疹の範囲が拡大し、耳の付け根から黄色い浸出液が出るようになりました。
1か月後	経過中	良くなったという実感はまだ乏しく、不安もありましたが、入浴を継続しました。
3か月後	回復傾向	徐々に湿疹が消え、かゆみも軽くなり、傷を作ることが少なくなりました。耳の浸出液も消えました。
半年後	経過後半	湿疹はほとんど消え、離乳食も順調に食べられるようになりました。
10か月後	終了時	治療を終えてよいとされ、その後1年経っても再燃への大きな心配は少ない状態でした。

4. ピーク時期

ピークは、生後3か月頃の受診時から1週間後にかけて、頭皮の乾燥と落屑、顔や体の湿疹、夜間掻破による出血、耳付け根からの黄色い浸出液があった時期です。

5. 困りごと

- ・夜中に掻いて、朝には顔が血だらけになることがありました。
- ・毎日の漢方風呂、消毒、外用を嫌がる子を押さえて行う必要があり、家庭内での負担が大きい時期がありました。
- ・耳の付け根から黄色い浸出液が止まらず、掻いて悪化することがありました。
- ・1か月経っても良くなった実感が乏しく、不安がありました。

6. 経過のまとめ

生後1か月未満から顔に湿疹と黄色い浸出液が出て、生後3か月頃には頭皮の乾燥と落屑、顔・腕・胸・足の湿疹、夜間掻破による出血がありました。治療開始1週間後には湿疹の範囲が広がり、耳の付け根から黄色い浸出液も出ました。

3か月後には徐々に湿疹が消え、かゆみも軽くなり、耳の浸出液も消えました。半年後にはほとんど湿疹が消え、離乳食も順調に進み、10か月後には治療を終えてよい状態になりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。